

りそなマーケット経済フラッシュ

英国の財政政策と中銀対応

■ 概況

- ▶ 英国では中銀が引き締めを継続する中、新政権が減税を柱とした財政政策を公表、市場の波乱要因となっている
- ▶ 英国中銀BOEは市場の混乱に対応する為、介入措置を公表したものの、一時的な対応に留まるとの懸念が燻る

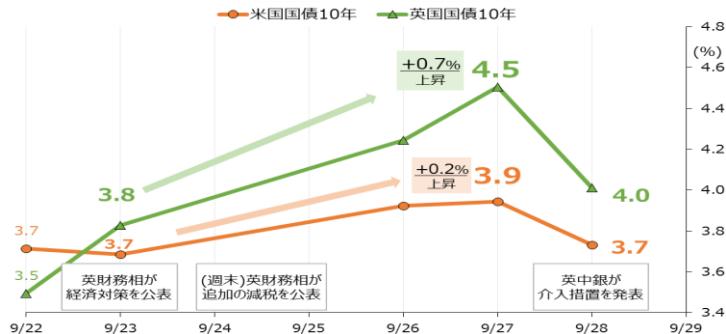
1. 財政政策「成長計画」

- ✓ 5年間で1,610億ポンド(1,770億ドル)規模の経済対策で、大幅な減税が柱となっており、**国債の増発+800億ドル**も同時に発表。
- ✓ 政策規模(1,770億ドル)は、英国GDP(2兆8,271億ドル)の**約6.3%**と過去50年来で最大。

主な項目	内容
✓ 個人所得税引下げ	最低税率20→19%を1年前倒し 年収15万ポンド以上の所得者の税率引下げ
✓ 法人税増税撤回	2023/4以降の大企業の法人税の引上げ撤回
✓ 国民保険料引下げ	国民保険料を11月から一時的に引下げ
✓ インフラ投資促進	建設・エネルギーインフラ案件等の迅速な実行

2. 市場の反応

- ✓ 財政規律の棚上げによる**財政の大幅悪化**と、それに伴う(引き締め局面にかかわらず)**国債増発**が嫌気され、英国債中心に金利が急騰



3. 中銀の対応

- ✓ BOEは財政政策を受けた緊急利上げの実施は否定したものの、9/28に
① **国債の無制限買い入れ**・② **保有債券の売却開始を延期**の措置を公表。

① 国債の無制限買い入れ	・残存期間20年超の 国債を無制限に買い入れ ・9/28から 10/14 まで毎日実施する
② 保有債券の売却開始を延期	・量的引締め(コロナ禍における量的緩和で買入れた国債の売却)の開始予定日を 10/3→10/31へ延期

【これまでの引締めと今後の予定】

時期	政策金利	内容
2021年 12月	0.25% (+0.15%)	政策金利の引上げ開始
2022年 2月	0.50% (+0.25%)	保有国債の再投資停止開始 量的引締め開始
3月	0.75% (+0.25%)	
5~8月	3回の会合で計1.0%利上げ	
9月	2.25% (+0.50%)	保有国債の売却を決定
予定 10/31	保有国債売却開始 (10/3開始を延期)	
11/4	BOE定例会合にて政府の財政政策を点検・影響を検証、 追加利上げ実施の見込み	

【英国CPIと政策金利】

10%を超えるCPIの抑制の為、利上げを継続している

